



平成29年9月29日

第18回 新潟技調講演会開催

140名の方が参加し、盛況に開催されました！



〈笹所長による挨拶〉



〈伊東様による基調講演〉

平成29年9月28日（木）、新潟グランドホテル（5階 常磐の間）において「第18回 新潟技調講演会」を開催しました。

本講演会は、北陸の海・空のみなとづくりをわかりやすく伝え、市民や港湾関係者の皆様にみなとへの関心と理解を深めて頂くために毎年開催しており、今回は、140名（内、一般参加者111名）の方に参加頂きました。

笹所長による挨拶の後、新潟市歴史博物館副館長の伊東祐之氏より、「新潟港の繁栄と開港の意義」と題した基調講演が行われ、江戸時代の分権的な幕藩体制の中で越後・佐渡の経済・流通上の拠点の一つであった新潟町は、開港場となったことから、中央集権国家のシステムの中で新潟県の政治・社会・文化・経済の集中的な極となり、新潟県内の地域編成の中核となっていくことなどについてご講演頂きました。

その後、当事務所の長井係長から、「栈橋式岸壁における維持管理を考慮した構造（リプレイサブル栈橋上部工）」について報告を行いました。

今年も多数の方にご参加頂き、盛況に開催することが出来ました。



〈長井係長の報告〉



〈会場の様子〉



〈質問の様子〉